

重要な情報が記載されています
ので、必ずお読み下さい。

令和 7 年 5 月

金沢市久安 3 丁目 406 番地
辰巳化学株式会社

チアジド系降圧利尿剤
日本薬局方 トリクロルメチアジド錠
トリクロルメチアジド錠2mg「TCK」

「使用上の注意」改訂のお知らせ

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は弊社製品につきまして格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、令和 7 年 5 月 20 日付厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知により、トリクロルメチアジド錠 2mg 「TCK」の「使用上の注意」の改訂を致しましたので、ご案内申し上げます。
何卒ご承知の上、ご使用賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬 具

■ 改訂箇所

———— 医薬安通知による変更箇所

改訂後	改訂前
15. その他の注意 15.1 臨床使用に基づく情報 他のチアジド系薬剤において、急性近視、閉塞隅角緑内障、脈絡膜滲出があらわれたとの報告がある。	(新設)

なお、他の項は現行の通りとする。

■ 改訂理由

海外（米国、EU、カナダ等）において、サイアザイド系利尿薬（サイアザイド類似利尿薬含む）及びアセタゾラミドを含む利尿薬について、急性近視、閉塞隅角緑内障及び脈絡膜滲出に関するリスク評価又は措置が行われている。また、スルホンアミド構造を有する医薬品と急性近視、閉塞隅角緑内障及び脈絡膜滲出のリスクとの関連性を示唆する報告^{*1}がある。

これらの情報を踏まえ、利尿薬のうちスルホンアミド構造を有する炭酸脱水酵素阻害薬（経口剤、注射剤）、サイアザイド系利尿薬、ループ利尿薬について、急性近視、閉塞隅角緑内障及び脈絡膜滲出に関する国内外の副作用症例、公表文献が評価された。専門委員の意見も聴取した結果、サイアザイド系薬剤に分類されるトリクロルメチアジドについては、急性近視、閉塞隅角緑内障及び脈絡膜滲出との因果関係が否定できない症例は認められていないが、他のサイアザイド系薬剤で因果関係が否定できない症例が認められていることを踏まえ、使用上の注意を改訂することが適切と判断された。

※ 1 : Ah-kee EY, et al.: Qatar Med J. 2015;2015(1):6

改訂内容につきましては、令和7年6月発行予定の「医薬品安全対策情報(DSU)No.336」に掲載されます。
また、改訂後の添付文書は弊社ホームページ(<https://www.tatsumi-kagaku.com/>)及び独立行政法人 医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)に掲載されますので、併せてご利用下さい。
なお、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ[®]」を用いて、以下のGS1バーコードを読み取ることで、最新の添付文書をご覧頂くことが可能です。



(01)14987124052111